

第6回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞における「審査委員会特別賞」の受賞について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)の子会社である日鉱石油化学株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:瀬野幸一、以下「日鉱石化」)は、本9月10日、日刊工業新聞社主催の第6回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞において「審査委員会特別賞」を受賞いたしました。
2. オゾン層保護・地球温暖化防止大賞では、「国内における特定フロン等の削減、全廃規制、回収・破壊の着実な実施、途上国におけるオゾン層破壊物質の削減等およびオゾン層やオゾン層破壊物質に関する調査研究の進展に資するべく、オゾン層保護対策の推進に不断の努力を重ね、顕著な功績を表した産業界その他の団体もしくは個人を表彰し、今後のオゾン層保護対策と地球温暖化防止対策の一層の推進に資すること」が目的とされております。
3. 今回の受賞は、フロン(CFC-113)やエタン(1.1.1-トリクロロエタン)の代替洗浄剤として日鉱石化が開発し、1992年から販売している炭化水素系洗浄剤「NSクリーン」が当該物質の削減に大きく貢献していることや、同社が金属洗浄分野における代替技術の開発支援・啓蒙に貢献したことが高く評価されたものです。
4. 「NSクリーン」の2002年度販売実績は年間約1万KLで、使用ユーザー数は4千社を越えております。かつてエタンは金属洗浄分野を中心に年間20万トンの需要があったといわれておりますが、転換事例からの試算では、NSクリーン1KLの使用がエタン約5トンの削減に相当するため、NSクリーンへの代替によるフロン、エタンの削減量は年間約5万トン(2002年度販売実績を基にエタン換算)となり、前述需要量の約25%に相当する量の削減に貢献していると推定されます。
5. 日鉱石化では、ジャパンエナジーグループの一員として、これまで「環境保護」や「社会貢献」を念頭に置いて新規事業に取り組んでまいりましたが、今後もNSクリーンやEMクリーンの販売を通して、塩化メチレンやトリクロロエチレンなど塩素系溶剤の削減に貢献していく所存です。また、今回の受賞はトリクロロエタンの代替洗浄剤(金属加工油の脱脂洗浄剤)としては初の受賞であり、大変栄誉あることと受けとめており、これを契機に、環境対応型製品の開発や金属洗浄分野における代替技術の開発支援・啓蒙活動を一層強化していく所存です。



以上